

第445回鉄鋼流通問題懇談会

2018年7月26日（木）14：30

4階・日本鉄鋼連盟・第一会議室

△経済産業省新任担当官 ご紹介 黒田紀幸 金属課長
△ # 篠原康人 金属課長補佐

議 題

1. 配布資料説明（全鉄連）
2. 全鉄連情勢報告
 - (1) 地区の状況
 - 東京、大阪、愛知、新潟、北九州地区概況報告
 - (2) その他地区の概況
 - 鉄流懇7月例会で発表の各地区業況アンケート結果
 - (3) 総括：阪上全鉄連会長
3. 意見交換
4. 経済産業省挨拶
5. 鉄流懇会長挨拶
6. その他

○次回以降会議予定

2018年10月25日（木）14：30～

於：日本鉄鋼連盟4階・第一会議室

発表者 発表項目	メーカー JFEスチール
1. 需給動向（景況感）	<p>（国内）・日本経済は緩やかな回復基調を続けており、6月の日銀短観では18年度の設備投資が全産業、全規模の企業で大幅に上方修正されるなど、主要経済指標は堅調に推移している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計部門については、5月の小売業販売額が7ヶ月連続前年同月比でプラスとなる等、個人消費には持ち直し動きが続き、雇用環境も引き続き堅調となっている。 ・部門別活動状況は、製造業部門は自動車生産が4ヶ月連続で前年水準を上回ったほか、機械生産も国内外の堅調な需要を背景に、産業機械は2ヶ月連続、電気機械は2ヶ月ぶりに前年同月比増となった。 <p>また、建設部門は民間土木向けを中心に安定的に推移している。</p> <p>（海外）・米国は依然堅調、欧州は総じて底堅く、中国も内需が堅調に推移。ASEAN諸国も全体的に緩やかな回復傾向が継続。しかしながら、米国の保護主義的通商政策に対し、EU、中国をはじめとした世界各国が対抗措置の動きを徐々に明確化しており、それらが世界経済に与える影響に留意が必要となっている。</p> <p><国内鉄鋼需給></p> <ul style="list-style-type: none"> （生産）・18年6月の粗鋼生産は前年同月比増（+4.2%）の876万tとなり、2ヶ月連続の増加。 （出荷）・5月の普通鋼国内向け出荷は391万トン（前年同月比+6%）で2ヶ月連続の増加。一方、輸出向け出荷は186万トン（同▲2%）と19ヶ月連続で減少。 （在庫）・5月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は587万トン（前月比+8万トン）、2ヶ月振りに増加。 ・5月末の薄板3品在庫は434万トン（同+18万トン）、2ヶ月振りに増加。 ・5月末の厚板シャヤー在庫は40万トン（同+1万トン）。2ヶ月連続で増加。 <p>〔建築〕・5月の新設住宅着工戸数は8.0万戸（前年同月比+1%）で2ヶ月連続の増加。分譲は増加も、持家・貸家は減少。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非住宅着工床面積は419万㎡（同▲7%）で4ヶ月振りの減少。製造業用は増も、商業・サービス用で減。 <p>〔自動車〕・6月の国内販売は41.7万台（前年同月比▲6%）で2ヶ月連続の減少。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月の完成車輸出は34.5万台（同+8%）で7ヶ月連続の増加。北米・欧州・アジア向け等堅調。 ・5月の四輪生産は72.4万台（同+5%）で4ヶ月連続の増加。 <p>〔造船〕・6月の新造船受注量は54万GT（前年同月比▲47%）の受注。18年6月末の手持工事量は2,541万GT（同▲9%）と漸減継続。</p>
2. 需要産業動向	<p>〔輸出〕・6月の全鉄鋼輸出は314万トン（前年同月比▲2%）で2ヶ月ぶりの減少。アセアン向けで増加、米国、韓国等で減少。</p> <p>〔輸入〕・5月の鋼材輸入（普通鋼・ステン鋼・その他合金鋼計）は47万トン（前年同月比▲5%）で2ヶ月ぶりの減少。台湾が4ヶ月ぶり増加（同+21%）も、中国は3ヶ月ぶり減少（同▲6%）、韓国は3ヶ月連続の減少（▲13%）。</p>
3. 輸出入動向	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の世界粗鋼生産は、中国やインド、米国等で前年同月比増加、1億5,486万トン（前年同月比+7%）となった。 ・6月の中国粗鋼生産は8,020万トン（前年同月比+10%）、日当たり267万トン。環境規制での減産終了に伴い生産量増加。 ・6月の中国鋼材輸出は694万トン（前年同月比+2%）、23ヶ月ぶりに前年同月比増。前月比では5ヶ月連続増。
4. 海外市場動向	